

新型コロナ関連情報

9月1日、岐阜県が第2波非常事態宣言を解除しました。しかしながら、感染リスクがゼロになったというわけではありません。感染リスクが高いとされる場所や行動には引き続き注意をしてください。

クラスターが発生しやすい場所は回避！

問合先 健康増進課

締め切った場所で大人数での酒類を伴う飲食、パーティー、カラオケ、クラブなどは要注意

※特に飲食後もマスクをはずして会話を続けることは危険です。



利用するならこのお店！

問合先 観光交流課



こちらは利用者の皆さんが安心して利用いただくための目安となるステッカーです。ステッカーがある店舗や事業所などは、岐阜県の「コロナ社会を生き抜く行動指針」に沿った感染防止対策を実施していることを宣言しています。

注：このステッカーは、県や市が店舗における感染防止対策を認証などするものではありません。



◀ 県内のステッカー配布店舗

コロナ差別を許さない

9月4日、市議会定例会で、「コロナ差別を許さない可児市議会緊急メッセージ」が可決されました。メッセージでは、誰もが感染者などになり得ることから

- 感染者や医療従事者、その家族への差別的扱いや誹謗中傷を許さない社会を築く
- 医療従事者ら感染リスクと隣り合わせで働く方々に感謝し、応援する
- 根拠のないうわさ話に惑わされたり、差別や偏見につながるような情報の拡散は行わない

以上の3つを呼びかけ、市長は「感染した人に誹謗中傷やデマなどで一層つらい思いをさせないよう取り組みでいきたい」と賛同しました。

メッセージの全文はこちら



マスクなどの寄附をいただきました



8/19 可児市赤十字奉仕団のみなさん



8/13 マスクなどを託す呉本会長ら

8月13日、リゾート施設運営の湯の華が市社会福祉協議会に現金10万円と、同施設に設置されたボックスに集まった政府支給の布マスク223袋（1袋2枚入り）を寄附され、マスクを同協議会から市に譲り受けました。また、19日には可児市赤十字奉仕団から感染症重症化リスクが高い高齢者への感染予防と、新型コロナウイルス収束の願いを込めて、6月下旬から12の分団で作られた570枚のマスクの寄附を受けました。

マスクは共に、80歳を迎えた人のお宅を訪問する高齢者孤立防止事業で「あんきクラブ便り第4号」と一緒に手渡すなど、感染防止に役立てていきます。

お詫びと訂正

令和2年9月号の「7.15 豪雨災害を忘れない」において氏名の誤りがございました。正しくは「細田昭彦さん」です。訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

夏は浴衣で大河ドラマ館

麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館へ浴衣を着て来館するとオリジナルの手ぬぐいがもらえる企画（8月限定）が開催されました。HPを見てこの企画を知ったという瑞浪市から来た家族は「今年は機会がなくて子どもに浴衣を着せられないと思っていたが、浴衣を着てドラマ館に来られて良かった」と話しました。

また、大河ドラマ館の入館券または使用済み半券を市内の博物館3館（戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館、可児郷土歴史館）で提示すると、一般入館料が150円に割引されます。期間は令和3年1月11日まで。明智光秀生誕地とともに可児の歴史を“お得”に学びませんか。



浴衣姿でドラマ館を楽しむ子どもたち

割引の詳細はコチラ▶



植物の宝物 みーつけた！

可児の希少な植物や昆虫などを観察する「可児は植物の宝庫」が、8月2日に大森地内と浅間山で開催されました。市内小学生とその保護者が参加し、講師の話聞きながら、スマートフォンアプリで撮影したり配布されたテキストに記録をとったりしました。

参加者からは「サギソウやハッチョウトンボなど、可児の宝物をたくさん見つけられてよかった」「ますます自分の故郷が好きになりました」などの感想が聞かれました。



講師の話を聞く参加者

子どもたちを地域で応援

株式会社ネオプライムヒグチ（肉のひぐち）から「真夏の暑さに負けず、新しい生活様式の中で学校生活を送る児童生徒を応援したい」と飛騨牛300kgの寄附をいただきました。

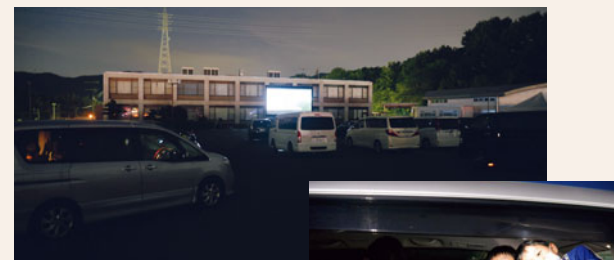
8月18日の給食で、この飛騨牛を使った牛丼が市内16小中学校で振る舞われました。波多野華太郎さん（中部中3年）は「僕たちのために寄附してくれてとても嬉しい。献立表を見た時から楽しみにしていた。期待通りの味で、テストまで頑張って勉強ができそう」と話していました。



飛騨牛を味わう生徒たち

コロナ禍でも楽しみを

8月29日、「ドライブインシアター（ヒックとドラゴン 聖地への冒険を上映）」が帷子地区センターで行われました。チラシを見て来場した大倉さん一家の兄弟4人は、上映前から車の中でワクワク、ソワソワ。映画が始まるとスクリーンにくぎ付けになっていました。他にも、来場者からは「コロナ禍でも安心して楽しめて嬉しい。またやってほしい」と再上映を期待する声がありました。



上映の様子と大倉さん一家

